|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 科　目 | | 公共 | | 学年・類型 | | | ２年・普通科 | | 単位数 | ２ |
| 教 科 書 | | | 高等学校　新公共　（第一学習社） | | | | | | | |
| 副教材等 | | | なし | | | | | | | |
| 学 習  目 標 | | 社会的事象の公共的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を養います。 | | | | | | | | |
| 観点別  評価規準 | | 知識・技能 | | | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 | | |
| 日本や世界の公共的な社会制度や経済制度・文化について理解し、自らの公共的な立場について認識している。  また、そのことに関する調査方法を学び、諸資料や統計から様々な情報を適切かつ効果的に読み取る技能を身に付けている。 | | | | 日本や世界の公共的な社会制度や経済制度・文化の特性や課題について分析できている。さらに、その課題解決に向けて考えることができている。また、それらの成果を自分の言葉で表現することができている。 | | よりよい公共社会の実現に向けて、課題を主体的に追究し、解決しようとしている。  多面的・多角的な考察を通して、日本や世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする自覚が深まっている。 | | |
| 評 価  方 法 | | 各学期末は観点別評価と評点で、学年末は観点別評価と評点及び５段階評定で評価します。観点別評価はA・B・Cの３段階で総合的に評価します。「知識・技能」は定期考査、小テストなど、「思考・判断・表現」は定期考査、課題やレポート、授業中の発表内容など、「主体的に学習に取り組む態度」は提出物や授業態度などを基に評価します。 | | | | | | | | |
|  | 単　　元 | | | | 主　な　学　習　活　動 | | | | | |
| 一　学　期 | 第１編　公共の扉  第１章　公共的な空間をつくる私たち  第２章　公共的な空間における人間としてのあり方生き方  第３章　公共的な空間における基本原理  第２編　自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち  　第１章　法的な主体となる私たち | | | | ・青年期の意義を理解し、青年としての在り方について自覚を深めます。  ・環境問題や生命倫理などの公共的な課題についての問題意識を深めます。  ・公共的な立場と個人としての立場の在り方についての基本原理  　について考えます。  ・社会における法の役割とその課題について考えます。 | | | | | |
| 二　学　期 | 第２章　政治的な主体となる私たち  　第３章　経済的な主体となる私たち | | | | ・選挙制度と世論形成についての現状と課題について考えます。  ・国会・内閣・地方自治などの政治の役割について考え、主権者としての自己の立場の認識を深めます。  ・国際社会の現状に対する理解を深め、その課題について主体的に考えます。  ・職業、雇用と労働問題について、自らのこととして理解を深めます。  ・市場の働きについて、自らの問題意識を持って考えます。  ・金融や財政が果たす公共的な役割の現状と課題について理解します。  ・グローバル化が進む経済の課題について考えます。 | | | | | |
| 三　学　期 | 第３編　持続可能な社会づくりの主体となる私たち  　（ケーススタディ） | | | | ・地球環境問題、生命倫理、情報社会の課題、国際社会の課題などにおける具体的な個々の課題を見つけ、設定したテーマについての探究を深めます。 | | | | | |